ふりかえりシート 2

年 組

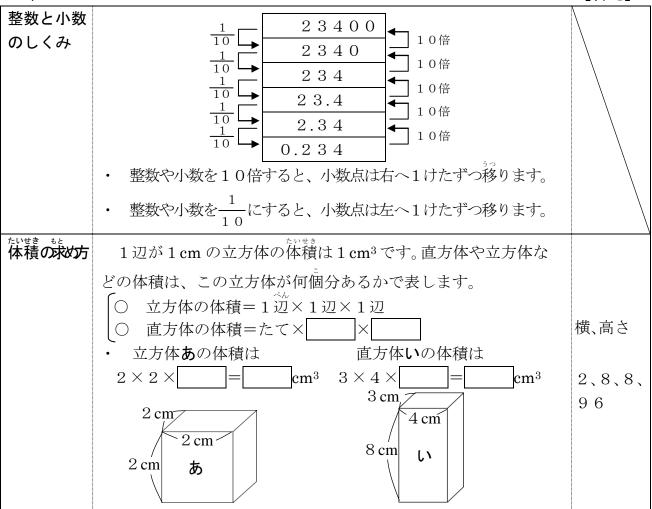
番名前

学習したことが身に付いているか、たしかめてみましょう。

4年 【答え】

計算のきまり	$(2+3) \times 4 = 2 \times 4 + 3 \times 4$ ※ ふり分けてかけてもよい $2 \times 3 = 3 \times 2$ ※ 入れかえてもよい	
	$\lfloor (2 \times 3) \times 4 = 2 \times (3 \times 4)$ ※ どこから計算してもよい	
計算のくふう	計算のきまりを使うと、次のようなくふうができます。	
	• $12 \times 15 = (10 + 2) \times 15 = 10 \times 100 + 2 \times 100$	15,15,
	= 150 + 30 =	180
	• $25 \times 28 = 25 \times (4 \times) = (25 \times 4) \times 7 = \times 7 = 700$	7,100
がい数の	およその数のことをがい数といいます。	
表し方	・ $0 \sim 4$ までの数は切り捨て、 $5 \sim 9$ までの数は切り上げて	
	およその数にすることを、四捨五入といいます。	
	14の一の位(4)を四捨五入すると10です。	
	25 <u>の</u> 一の位 (5) を四捨五入すると30です。	
	51<mark>8</mark>43の百の位を四捨五入して、千の位までのがい数	
	で表すと です。	52000

5年 【答え】



		【合え】
小数×小数 の仕方	かけられる数を 10 倍したり、かける数を 10 倍したりすると、かけ算の答えも 10 倍になります。 2.3×2 の計算は、 ① $2.3 \times \frac{10}{10}$ 倍して、 2.3×2 を計算します。 ② その答えを 10 でわると、 2.3×2 の答えが求まります。	
	$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4.6
小数÷小数	・ $3 \times 32 = 96$ だから、 $3 \times 3.2 =$ になります。 わられる数とわる数に同じ数をかけても、わり算の答えは変	9.6
の仕方	わりません。 $4.8 \div 0.6$ の計算は、 4.8×0.6 をそれぞれ 1 0 倍して、 4 $8 \div 6$ を計算します。 これで $4.8 \div 0.6$ の答えが求まります。	
	$4.8 \div 0.6 = $ $\downarrow \times 10 $ $48 \div 6 = 8$ 等しい $48 \div 6 = 8$	8
	1.2÷0.02は、1.2と0.02をそれぞれ100倍して ÷2を計算します。答えは60です。	120
単位当たり の量の求め方		
	・ $2 \text{m}^2 \text{に } 5$ 人がいるエレベータ あ と $2 \text{m}^2 \text{に } 6$ 人がいるエレベータ い のどちらがこんでいるかを考えます。	
	エレベータあ $\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ エレベータい $\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ $2\mathrm{m}^2$ $2\mathrm{m}^2$	
	$1 \mathrm{m}^2$ 当たりの人数で比べると	
	エレベータ あ は、 $5 \div 2 = 2.5$ 1 m^2 当たり 2.5 人です。	
	エレベータ い は、 $6 \div 2 = 3$ 1 m^2 当たり 3 人です。 だから、エレベータ の方がこんでいます。	い

ふりかえりはばっちりですか。できた人は、 **きそシート2**にチャレンジしてみましょう。

